

2008年

(2008/01/01~2008/12/31)

循環器科における治療内容



中央病院 循環器科

現在、狭心症および心筋梗塞などの虚血性心疾患の診断、治療において冠動脈カテーテル検査および冠動脈形成術（PCI）は確立された検査、治療になっております。当院における 2008年（1月から12月） の治療内容を下記に示します。ご参照ください。

カテーテル検査及び治療	総数	1,609件
心臓カテーテル検査		1,118件
経皮的冠動脈血管形成術（PCI）		440件
末梢動脈血管形成術（PTA）		51件

ペースメーカー	総数	86件
新規		54件
交換		7件
一時 ^h -ツグ		25件

【ステント治療の内訳】

従来 ^h の金属ステント（BMS）	277件（58%）
薬剤溶出ステント（DES）	202件（42%）
バルーンにおける拡張	159件

非閉塞病変	604病変
手技成功率	98%
閉塞病変	44病変
手技成功率	86%

【治療成績】

急性冠症候群（ACS）	131件
急性心筋梗塞 83例	手技成功率 95%
不安定狭心症 48例	手技成功率 98%
狭心症	
非閉塞病変（604病変）	手技成功率 98%
慢性閉塞病変（44病変）	手技成功率 86%

